

学習者主体の授業づくりに向けた「振り返り」の事例

学校名	南さつま市立万世中学校	児童生徒数	188人
-----	-------------	-------	------

振り返りをしている子供の様子や、振り返りの視点、振り返りの記述等

章の課題	今日の天気の状態を、クラスメイトに伝えるためには、何が分かればよいだろうか。	
章の課題の答え	今日の天気の状態をクラスメイトに伝えるためには、雲の形や雲の大きさや厚さ雲のおよその数が分かれば良いと思う。	授業初めでの仮説
予想をもつ	11	関連させる
考察する	11	ヒントを見つける
		授業1時間分の振り返りシート黄色枠
1	<p>学習して分かったこと 大気の状態や大気中で起こっている様々な現象を気象という。気象観測では気温、湿度、気圧、風向、風速、風力を観測しこれらを気象要素と言う。曇量0~1快晴2~8晴れ9~10曇。晴れの日は朝と夜に気温が低く太陽が最も高い位置から下がってきた午後1時に最高気温に達し、曇や雨の日は気温はあまり変わらない。</p> <p>解決のために参考にしたこと グループごとに場所を決めて外に出て天気、気温、気圧、風向などを調べる。</p> <p>学習後の疑問 気圧と頭が痛くなることはどのような関係があるのだろうか。</p>	<p>3:よくできた 2:できた 1:あまりできなかった</p> <p>3 学習課題に対する予想をもつことができた。</p> <p>3 実験・観察の結果から自分で考察することができた。</p> <p>3 今までの学習と関連させることができたか。</p> <p>2 章の課題のヒントを見つけることができた。</p>
2	<p>学習して分かったこと 空気には重力がかかる。重力によって力が加わっている。その力によって大気圧が生じている。大気圧は高度によって変化するだけでなく、天気によっても変化する。物体同士が触れ合う面に力が働く時、その面を垂直におす単位面積あたりの力の大きさを圧力という。圧力を求める式 $圧力 = 力 \div 面積$ の面積を垂直におす。</p> <p>解決のために参考にしたこと ペットボトルに水をいれてスポンジの上のせて沈んだ深さを調べる。</p> <p>学習後の疑問 どちらも鉛筆が細かったらどのように変化するのか。</p> <p>学習して分かったこと 天気図上で同時刻に観測した気圧の等しい地点を結んだ線を等圧線という。等圧線の間隔が小さいところは気圧の変化が急なので空気が移動しやすい。風が強い。空気が移動しやすいところは地上から上空に向かって移動する上昇気流が起きている。</p>	<p>3:よくできた 2:できた 1:あまりできなかった</p> <p>3 学習課題に対する予想をもつことができた。</p> <p>3 実験・観察の結果から自分で考察することができた。</p> <p>2 今までの学習と関連させることができたか。</p> <p>2 章の課題のヒントを見つけることができた。</p> <p>3:よくできた 2:できた 1:あまりできなかった</p> <p>2 学習課題に対する予想をもつことができた。</p>
3	<p>解決のために参考にしたこと 風の風向や強さと天気図の低気圧の場所を見て考えた。</p> <p>学習後の疑問 高気圧は等圧線が大体何本あるのか</p>	<p>2 実験・観察の結果から自分で考察することができた。</p> <p>3 今までの学習と関連させることができたか。</p> <p>3 章の課題のヒントを見つけることができた。</p>
4	<p>学習して分かったこと 湿気は細かい水滴、水蒸気は気体で目に見えない。空気に含まれる水蒸気の一部が水滴に変わることが凝結という。凝結し始める温度を露点という。1mの空気が含むことのできる水蒸気の最大質量を飽和水蒸気量といいそれを超えると空気中にとどまることができないので液体の水滴となって出てくる。</p> <p>解決のために参考にしたこと 室温に近くした水に氷水を入れていき水滴が付き始める温度を調べた。水蒸気は温度を下げると水滴になることを参考にした。</p> <p>学習後の疑問 雨の日に建物の壁についている水滴の湿気はなんだろうか。</p>	<p>3:よくできた 2:できた 1:あまりできなかった</p> <p>3 学習課題に対する予想をもつことができた。</p> <p>3 実験・観察の結果から自分で考察することができた。</p> <p>3 今までの学習と関連させることができたか。</p> <p>3 章の課題のヒントを見つけることができた。</p>
章の課題の答え	気温や湿度、気圧風向、風速、風力などの気象要素を調べて報告する。	授業終了後の答え。授業はじめでの答えとの比較ができる。

取組についての概要（成果）

取組	○ 理科の授業では振り返りシートをすべての授業で使用し、タブレットに入力し生徒は毎時間、教師へ送信し、データを蓄積している。
成果	○ 他の生徒の振り返りシートの内容確認とお互いの考えの意見交換を行っている。 ○ 生徒はお互いの振り返りの内容を確認して新たな気付きがあり、疑問に感じたことは議論し思考を深めている。 ○ 授業の始めの考えと単元終了後に考えた答えを比較できている。 ○ 同じ観点で毎時間自己評価を行っている為、授業で押さえるポイントを理解している。